

講義科目名（コース名）	情報リテラシー入門（ネットワークアクセスの基礎 他）
名前	岩田 員典

共通教育科目の情報リテラシー入門は HITs と Moodle の両方を利用した演習を行っている。HITs を利用して講義時間中にタイピング・Word・Excel の実習を行い、Moodle を利用して情報倫理やネットワークなどに関して自習をさせている。そして、自習ではあるが「ネットワークアクセスの基礎」の修了テストに合格することが単位取得の条件としている。したがって、本科目の受講生は二つのシステムを利用して学習を進めることになる。しかし、Moodle を利用した学習は自習形式のため学期末が近づいても上記修了テストに合格していない学生が多数いた¹。そこで、HITs の成績確認画面に Moodle の修了テストの可否を表示できるようにした。本稿ではその概要を説明する。

Moodle では成績などのデータ管理に MySQL を使用している。そこで、HITs から成績参照を行えるようにした。その手順は次のようになる。

1. Moodle が利用している MySQL サーバへのアクセス権限を設定する。
2. 設定された ID などを使いデータベースにアクセスする。
3. SQL 命令により目的の成績データを取り出す。その際に問題の ID が必要

である（ネットワークアクセスの基礎は 57 となっている）。

このようにして HITs の成績確認画面からネットワークアクセスの基礎の成績を参照するプログラムを作成し、学生が Moodle にアクセスしなくてもその成績がわかるようになった。その成績確認の画面を図 1 に示す。

これにより、受講生はネットワークアクセスの基礎に合格しているかどうかを Moodle にログインすることなく確認できるようになった。それに加えて、講義時間中では Moodle にアクセスしている学生が少なかったため、教員が学生の合格状況を把握しやすくなるという利点もあった。もしこの成績確認がなかったなら単位取得条件を満たせない学生が多数いたかもしれないことを考えると有効だったといえる。

回数	実施日	Word	Excel	Typing	合否
1回目	a-1, b-1(Typing-1)			1-1 --	--
2回目	a-2, b-2(実力テスト)	1-1 --	1-1 --		--
3回目	a-3, b-3(Word-2)	2-1 --			--
4回目	a-4, b-4(Word-3)	3-1 --			--
5回目	a-5, b-5(Excel-2)		2-1 --		--
6回目	a-6, b-6(確認問題)	4-1 --	3-1 --		--
練習問題達成率		0%			×
ネットワークアクセスの基礎		3/10			×

図 1：成績確認画面

¹ 授業では初回しか説明していないため、単位取得条件になっていることを忘れていたり、合格しているつもりでいたようである。